

群馬の畜産  
**みんなの情報室**

第317号  
 発行日  
 平成25年7月29日

発行：公益社団法人 群馬県畜産協会  
 〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 6階 / TEL:027-220-2371(代) FAX:027-220-2372  
 ホームページ：<http://www.chikusankyokai.or.jp>



学校農業クラブ連盟による家畜審査技術講習会・競技大会の様子

目

次

◎第70回定時総会について.....	2	◎学校農業クラブ 家畜審査技術講習会・記競技大会が開催される！ ...	7
◎獣医師の雇用先を求めています 獣医師養成確保修学資金貸与事業 .....	5	◎肉用牛肥育経営安定特別対策事業 新事業実施期間がスタート .....	8
◎酪農の第三者経営継承を進めるために ぐんま型シェアミルク推進事業 .....	5	◎お知らせ .....	8
◎第39回ブラックアンドホワイトショウが開催される！ .....	6	◎価格安定支援の各事業の実施状況 .....	9
◎群馬県の実力を見せた！第38回中部日本ブラックアンドホワイトショウ ..	6	◎行事予定 .....	10

## ■公益社団として2回目の定時総会 第70回定時総会について

公益社団法人となり、2回目の定時総会を、去る6月19日(水)、JAビル会議室で開催しました。

長岡会長の挨拶に続き、議長の選出、議事録署名人の専任と書記の指名等が行われ、まず、公益社団法人として初めて取り組んだ平成24年度の事業報告が行われ、3つの議案及び付帯議決を行いました。

### ●平成24年度事業の概要

平成24年度の畜産経営を取り巻く情勢は、配合飼料の主原料であるとうもろこし等の飼料穀物の価格高騰や急激な円安による配合飼料の価格高騰、前年度に比べれば持ち直しはあつたものの十分には回復しない牛枝肉卸売価格、豚枝肉卸売価格の低迷、鶏卵価格の軟調による成鶏更新・空舎延長事業の発動など、前年にも増して厳しいものでありました。

これらを受け、本会には従来から実施してきた畜産経営への支援対策、自衛防疫組織を中心とした家畜の衛生対策、価格差補填による経営安定対策、家畜の能力向上の基礎となる家畜登録や育種価評価、消費者の畜産への理解を醸成するための事業などに加え、「肉用牛肥育経営安定特別対策事業」の毎月補てんの実施や肉豚の継続的な補てん事務の実施など、国等の緊急的な対策に応じたきめの細かい対応が求められました。

また、原子力発電所事故による被害の賠償に関連して、従来にない仕組みの「牧草地除染対策事業」に取り組み、さらに、平成23年度に実施した返還条件付き補助事業である「肉用牛肥育経営緊急支援事業」の補助金返還事務を年度を通して実施するなど、震災関連の対策を継続して実施しました。

平成24年10月に開催された全国和牛能力共進会では、出品牛がいずれも高い評価を得ましたが、特に、肉牛の部で優等賞5席を獲得したことは快挙であり、本県肉牛関係者の大きな喜びとなりました。さらに、乳牛においても広域の共進会で他県を凌駕する成績を挙げ、生産者はもちろんのこと、家畜登録をはじめとした生産振興対策に主導的な役割を果たす本会にとつても大きな収穫でした。

なお、平成24年度は本会が公益社団法人として認定された初年度であり、会員各位の支援をいただきながら、国をはじめ、県、市町村、畜産関係団体、中央団体等との連携を密にして、「食生活に欠くことのできない安全で良質な畜産物を安定的に供給する」目的を果たすため、生産者のニーズを常に念頭に置きつつ、積極的かつ効率的に事業を実施することに努めました。

### ●会務

#### 1 総会の開催

##### (1) 第69回定期総会

ア 開催期日 平成24年6月20日(水)

イ 開催場所 群馬県 JAビル

ウ 議事と決議事項

第1号議案 平成23年事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書の承認について

第2号議案 理事及び監事の任期満了に伴う選任について

##### (2) 見なし議決による開催

ア 決議があつたとみなされる日

平成24年7月23日(月)

イ 決議事項

(1) 理事の選任の件

(2) 定款の一部変更の件

#### 2 会議の開催

##### (1) 理事会

平成24年6月13日 於)群馬県 JAビル

① 定時総会の招集について

② 定時総会に提出する議案について

③ 群馬県信用農業協同組合連合会からの会員脱退について

④ 特別会員の承認について

平成24年6月20日 於)群馬県 JAビル

① 会長、副会長及び専務理事の選定について

平成24年7月31日 於)群馬県 JAビル

① 臨時総会の開催及び議案について

② 臨時理事会の開催及び議題について

平成24年7月31日 見なし決議

① 副会長の選定について

平成25年3月14日 於)群馬県 JAビル

① 平成25年度事業計画及び収支予算の決定について

② 規程の変更及び制定について

##### (2) 監査会

平成24年6月7日 於)群馬県 JAビル

① 平成23年度事業報告及び収支決算について

② 計算書類について

##### (3) 職務執行の状況の報告

平成24年6月13日 於)群馬県 JAビル

肉用牛肥育経営記入支援事業の補助金返還状況について

平成25年3月14日 於)群馬県 JAビル

職務執行状況について

3 組織

(1) 会員

	24年度当初	増加数	減少数	24年度末
正会員	55		2	53
特別会員	30	1		31
計	85	1	2	84

(2) 役職員数(平成24年度末)

① 役員数

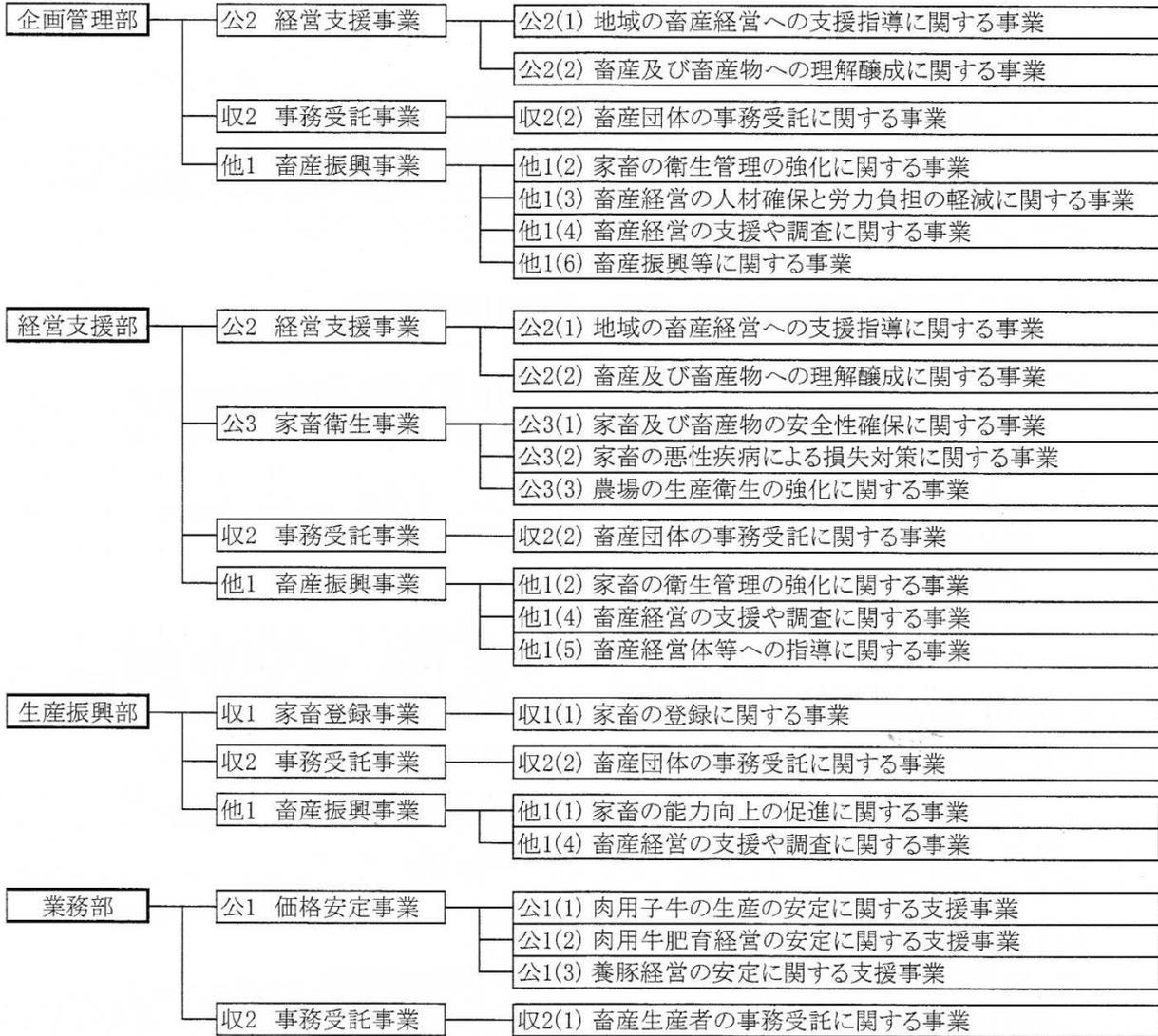
理事		監事	計
非常勤	常勤		
17	1	3	21

② 職員数

職員*	期間契約・嘱託	計
16	10	26

※群馬県農業協同組合中央会からの出向職員3名を含む

(3) 事務局体制及び事務分掌



4 平成24年度事業の実施状況

補助元・受託元等	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	事務事業	自主事業	計
農林水産省	4						4
農畜産業振興機構	10		1	1			12
群馬県	9			5			14
地方競馬全国協会	1						1
中央畜産会	1	1		5			7
その他の団体等		1		7	10		18
協会負担金			2	1		22	25
合計	25	2	3	19	10	22	81

## ●平成24年度計算書類の概要

平成24年度においては、補助事業25事業、助成事業2事業、特別事業3事業、受託事業19事業、事務受託10事業、自主事業22事業、合計81事業を実施し、経常収益4,016,090千円(対予算109%)、経常費用4,013,542千円(対予算110%)、経常外収支を含めた当期一般正味財産増減額は2,456千円の増となりました。公益目的事業会計では予算に対して一般正味財産減少額が大きくなりましたが、収益事業等会計では当初の減少見込みが増加に転じ、その結果、一般正味財産合計額は増加しました。この要因は、緊急的な震災対策関連事業が本格的に動き出したことにより事業量が増加したこと、補助事業の財源確保の制約等から当初計画を抑制的に作成したことなど、一時的な動きを反映した結果であると考えられます。また、事務の合理化を進めたことにより人件費が減少したこと、補助事業の拡充、新規事業への取り組み等により事業費からの人件費充当額が増加したことも、一般正味財産の増加に寄与しました。

公益法人は収益事業から得られる財産の増加を公益目的事業の実施に消費してさらに公益目的事業を拡大していくことが本来の運営の方向であり、平成24年度は結果として、健全な会の運営が図られたと言えます。以下に、各会計の一般正味財産の増減状況について、その概要を記します。

## ●各会計の状況

### 1 公益目的事業会計

公益目的事業の主な財源は、会費の2分の1の額及び補助事業等の事業費ですが、公益目的事業会計は収支相償を基本としており、本事業の一般正味財産が減少した場合には収益事業等会計の一般正味財産から振替えを行って埋め合わせをすることになります。平成24年度においては、経常収益3,513,960千円、経常費用3,529,073千円で、一般正味財産は15,113千円の減少となり、当初予算に比べ約5,000千円減少額が大きくなりました。そのため、一般正味財産が増加した収益事業等会計から定められた方式により14,622千円を振替えました。

#### (1) 価格安定事業(公1)

主な事業のうち、マルキン事業においては全期間補助金交付が行われたことによる事務量の増加、5万円事業では返還金受け入れのための事務量の増加などにより、費用が大きく増加しました。また、事業に要する事務費の一部について契約者に負担をお願いしている手数料も、マルキン事業では契約頭数が当初の見込みに届かなかったこと、さらに事業の仕組みの変更により、収益の計算期間が変わったことなどから減少しました。そのため一般正味財産は、わずかですが期首よりも減少しまし

た。

#### (2) 経営支援事業(公2)

本事業は補助事業等のほか本会資金を財源とする自主事業から構成されています。平成24年度においては、消費者に対する畜産の理解醸成活動や生産者への情報提供等の自主事業を積極的に実施したことから、一般正味財産減少額は当初予算に比べて大きくなりました。

#### (3) 家畜衛生事業(公3)

豚オーエスキー病の撲滅に向けてワクチン接種頭数が増加したことにより収益が増加したものの、いくつかの補助事業では予算作成段階で事業の実施計画が抑制され、その後計画変更が行われたこと等により費用が増加したため、最終的に一般正味財産減少額は、当初予算よりも大きくなりました。

## 2 収益事業等会計

本会の収益事業等の財源には、業務受託及び事務受託により得られる収入のほか、公益目的事業以外の補助事業等の事業費が計上されますが、平成24年度においては、経常収益494,164千円、経常費用477,254千円で、一般正味財産は16,910千円の増加となりました。主な増加要因は、家畜登録事業交付金の増加および事務受託事業のうち養豚生産者からの事務受託事業及び畜産振興事業における新規事業によるものでした。一般正味財産増カロ額のうち14,622千円は公益目的事業会計に振り替えました。

#### (1) 家畜登録事業(収1)

家畜登録事業は、家畜登録団体から登録等の実施頭数に応じて支払われる交付金収入が主な財源ですが、平成24年度においては乳牛の登録頭数が増加したことにより一般正味財産が増加しました。乳牛の登録頭数の増加は予算作成時の計画頭数の見積りがやや少なかったことに起因しており、今後の継続的な増加は見込めないものと考えられます。他の畜種においてはほぼ計画に沿った結果となりました。

#### (2) 事務受託事業(収2)

事務受託事業のうち、畜産団体からの事務受託料は1年間の事務受委託契約により支払われ、その収益に大きな変化は生じませんでした。生産者が補助事業事務を本会に委託する事業においては、補助事業契約頭数の動きにより収益に変化を生じます。平成24年度においては、養豚の価格差補填事業の契約頭数に若干の増加がありましたが、それに加えて期中に事業の仕組みの変更があったことにより収益の計算期間が変わり、経常収益は予算に対して約17%増加しました。

## (3) 畜産振興事業(他1)

本事業の財源には、公益目的事業以外の補助事業等のほか、特定の目的により拠出あるいは負担された資金および本会自己財源を活用した自主事業が含まれます。

平成24年度においては、放射性物質に汚染された永年生牧草地の除染を行う事業が本会を事業実施主体として実施されたこと、豚のワクチン接種頭数の増加があったこと等から、経常収益は55%増加し、一般正味財産

減少額は予算で計上された額よりも大幅に小さくなりました。

## 3 法人会計

この会計は会費の2分の1の額を財源とし、本会の会務に使用する会計です。平成24年度においては、経常収益7,965千円、経常費用7,214千円で、管理費等の節減に努めた結果、一般正味財産はわずかながら増加しました。

## 企画管理部より

### ■獣医師の雇用先を求めています 獣医師養成確保修学資金貸与事業

産業動物獣医師の確保を図るため、農林水産省の補助を受け「獣医師養成確保修学資金貸与事業」を実施しています。

この事業では、卒業後、群馬県内において産業動物獣医療業務に従事すること等を条件に、修学資金の貸与を行っています。平成25年度は新たに5名の貸与を決定しました。

平成23年度からこれまでに、13名の獣医修学生が本事業により修学資金の貸与を受け、大学に通っています。

本事業の貸付対象者は、獣医師免許取得後、いずれも群馬県内に本拠地がある個人、農業協同組合、農業協同組合連合会等、協会が適当と認める団体等が開設する家畜診療所、市町村、群馬県等に勤務し、専ら群馬県内において産業動物の獣医療業務に従事することを貸付条件としています。

いずれの学生においても、群馬県内で産業動物獣医師として勤務を希望する修学生ですので、採用計画のある機関団体等ございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

## 【卒業予定年次と本事業対象者数(H23～)】

平成26年3月	3名	平成27年3月	1名
平成28年3月	3名	平成29年3月	5名
平成30年3月	3名	・・・	

### ■酪農の第三者経営継承を進めるために ぐんま型シェアミルク推進事業

これまで、酪農における新たな担い手の確保育成を図るため、ぐんま型の第三者継承システムの構築に向けて「酪農ヘルパーによる経営継承システム」の骨子をまとめてきました。

これは、酪農ヘルパー利用組合等に雇用されながら、

先進農家での営農技術の習得(就農研修)を行うもので、就農研修者の研修時の事故等の補償を担保し、就農研修中の地域農業者との関係の構築、収入面の確保、酪農ヘルパー出役を通じた地域酪農振興への寄与などが期待できます。

これまでの酪農ヘルパー要員からの就農とは異なり、新規参入者の確保育成を目的に、利用組合がインキュベータとなり、利用組合(JA)が自ら農業者を創出ところがポイントとなります。

現在は、問題点や課題点を検証しながらシステム化を図るため、JAや酪農ヘルパー利用組合のご協力をいただき、実際の継承事例について経営継承を取り進めています。

経営継承については、継承者(継承の受け手)の確保も重要であり、数多くの農業に興味関心のある方へ情報発信や就農相談を実施しています。

去る7月20日(土)、池袋におきまして農林水産省・厚生労働省事業で実施された「新農業人フェア」に参加し、県畜産課、JA利根沼田の協力のもと、群馬県新規就農相談センター(県技術支援課・農業会議・農業公社)と連携し、事業PRや就農希望者への就農相談を実施してきました。

酪農での新規参入を希望する意欲のある方が、円滑に就農できるシステム作りを今後とも進めていきたいと考えています。



就農相談の様子

畜産振興部より

■第39回群馬県ブラックアンドホワイトショウが開催される！

平成25年3月29日、前橋市の群馬県畜産試験場において、群馬県乳牛改良協会主催のもと「第39回群馬県ブラックアンドホワイトショウ」が開催されました。

天候にも恵まれた中、未經産52頭、経産60頭の計112頭が出品され、厳正な審査の結果、第11部 LA・PACE(北軽井沢)の出品牛が最高位を獲得しました。結果は以下の通りです。(各部チャンピオンのみ記載)

各序列決定後、4月12～13日に開催される中部日本B&Wショウに出品する牛の選抜も行われ、各部上位2頭計22頭のうち15頭の出品が決定しました。



最高位となったTMF リコライサー アルン クイン ETと受賞者のLA・PACE

	部	出品者	名 号	備 考
未 経 産 の 部	第1部	三輪 圭吾	リスペクト AC デュース マツクス	ジュニア GC
	第2部	遠坂 和仁	ファイン ダンデイ コンパース	
	第3部	星野 章好	クリアー TU レサー シド	
	第4部	LA・PACE	ノストリム アレス ダミオン ファンタジック	
	第5部	遠坂 和仁	ファイン ハウウド ダッチ	ジュニア RGC
経 産 の 部	第6部	Team Cousin	ハーバート チャンピオン クルミーナ	インターミディエイト RGC
	第7部	(有)神澤牧場	ブルーエンゼル LP サンチェス ルシンダ ET	
	第8部	(有)萩原牧場	ブルーエンゼル ロス ショアニー	
	第9部	中之条高校	ナカコ プライド リトン ラストウイン ET	インターミディエイト GC
	第10部	上谷川 直人	サニーデール ネリー ブラック ジャック	
	第11部	LA・PACE	TMF リコライサー アルン クイン ET	シニア GC、最高位

■群馬県の実力を見せた！  
第38回中部日本ブラックアンドホワイトショウ

平成25年4月12～13日の両日、静岡県御殿場市にある御殿場市馬術スポーツセンターにおいて、中部日本ホルスタイン改良協議会が主催する「第38回中部日本ブラックアンドホワイトショウ」が開催されました。

群馬県を含む1都16県からの参加があり、本県からは15頭が個体の部11部と群の部2部へ出品されました。

結果は個体の部のうち1頭が部チャンピオン、7頭が部リザーブチャンピオンに輝き、一等賞を含めると14頭が入賞し、1頭が経産牛グランドチャンピオンとなり、群の部では2部ともにグランドチャンピオンとなりました。

惜しくも県別対抗戦では静岡県に1位を譲りましたが、経産グランドチャンピオンに輝いた牛は、群馬県 B&W ショウにおいても最高位に輝いた牛でもあり、群馬県の乳

牛改良・酪農の質の高さを示すことができました。結果は以下の通りです。

(各部リザーブ以上のみ記載)



出展者のみなさん

部	受賞者	号名	成績	
未經産の部	第1部 三輪 圭吾	リスペクト AC デュース マックス	リザーブチャンピオン	
	第5部 遠坂 和仁	ファイン ハウンド ダツチ	リザーブチャンピオン	
経産の部	第6部 三輪 圭吾	リスペクト AC サンチエス マックス	リザーブチャンピオン	
	第7部 (有)神澤牧場	ゴツトフレイ レジエント サリ-	リザーブチャンピオン	
	第8部 (有)萩原牧場	ブルーエンゼル ロス ショアニー	リザーブチャンピオン	
	第9部 中之条高校	ナカコー プライド リトン ラストウインET	リザーブチャンピオン	
		上谷川直人	レインボ-ヒル キブソン セレナ	リザーブチャンピオン
	第12部	LA・PACE シンジケート	TMF リコライサー アレン クイーン ET	チャンピオン シニアグラントチャンピオン 経産グラントチャンピオン
母系牛群の部	三輪 圭吾	リスペクト AC デュース マックス リスペクト AC サンチエス マックス	グラントチャンピオン	
自家生産牛群の部	三輪 圭吾	リスペクト AC サンチエス マックス リスペクト QH ダンディー-パレード ハーバート チャンピオン クルミナ	グラントチャンピオン	

**■学校農業クラブ連盟による家畜審査技術講習会・競技大会が開催される！**

平成25年5月28日に群馬県学校農業クラブ連盟主催する「家畜審査技術講習会」が群馬県畜産試験場にて開催されました。

本講習会は、県内の農業課程を勉強する高校生が、生産性の向上に有効な体形などの良し悪しを判断する技術を学ぶことを目的とし、毎年、乳牛・和牛・豚の3部門を設けて開催されています。

今年は、乳牛の部111名、和牛の部71名、豚の部63名の計245名の高校生が参加しました。どの部においても、参加した高校生が積極的に講師の説明に真面目に聞き入っている姿勢が印象的でした。

平成25年6月11日には、講習会で学んだ知識と日頃の経験を試す場として、同試験場にて家畜審査技術競技大会が開催されました。

各畜種ともに成畜4頭と幼畜4頭における総合的な順位付けといくつかの評価項目における順位付けを行い、その採点結果で優秀な成績を収めた学生には、畜産試験場長から表彰が行われました。

また、乳牛の部の上位2名は今秋に千葉県で開催される全国大会に参加することができます。全国大会での活躍も期待できる将来有望な学生達ですので、応援よろしくお願い致します。



和牛の部の講習会（菅野講師）



家畜審査競技大会の様子

業務部より

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン）新事業実施期間がスタート！

これまで実施してきました「肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン）」が、今年度から新たな事業実施期間となり実施されます。事業内容は前事業実施期間と同様です。また、補てん金の毎月交付も当面の間継続されます。

【事業の目的】

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の拠出と機構の補助により造成した基金から粗収益と生産費との差額の8割を補てんすることにより、肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的としています。

【事業の仕組み】

肉用牛経営の安定を図るため、生産者からの拠出と機構からの助成により基金を造成し、四半期ごと（当面は月ごと）の肥育牛1頭当たりの平均粗収益が平均生産費を下回った場合に、その差額分の8割が補てんされます。

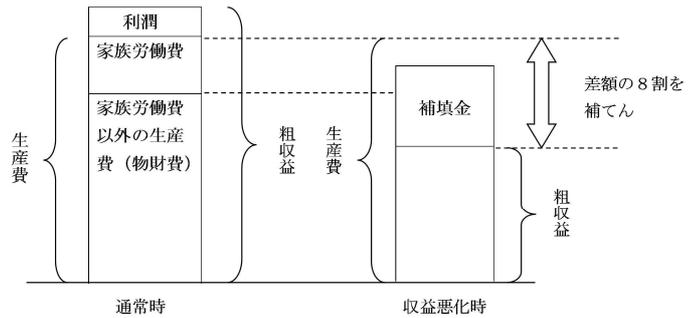
★事業内容★

積立割合：生産者：国 = 1：3

補填金：1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の8割対象品種；肉専用種、交雑種、乳用種の3区分

対象者：肉用牛肥育経営者（大企業は除く）

事業実施期間：平成25年度～27年度（3年間）

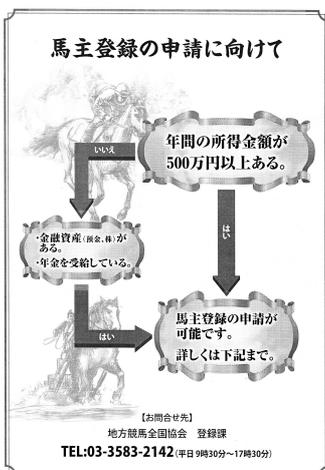


【平成25年度生産者等積立金】

品種	生産者	機構	積立金総額
肉専用種	18,000	54,000	72,000
交雑種	30,000	90,000	120,000
乳用種	25,000	75,000	100,000

お知らせ

■あなたも馬主になれる？！  
地方競馬全国協会 馬主登録



多くの競馬ファンが、いつかは馬主になりたい！という夢を持っているはずですが。

地方競馬全国協会では、馬主登録を行っており、諸条件を満たせば馬主になることができます。

馬主となり、自分の馬が地方競馬を走る。そんな夢をかなえてくれるのがこの馬主登録です。

詳細については地方競馬全国協会登録課 電話 03-3583-2142 までお問い合わせください。



■部門改編に伴う  
畜産協会ダイヤルイン番号について

当協会は、平成25年4月1日より、部を4部体制から3部体制へと改編いたしました。

これに伴い、各部門の直通のダイヤルイン番号が一部変更となっております。部門へお電話いただく際にはお間違のないようよろしくお願いいたします。

【部門ダイヤルイン電話番号】

- ◎企画管理部：027-220-2371(代)
- ◎畜産振興部：027-220-2360(直) (新部門)
- ◎業務部：027-220-2365(直)

【FAX 番号】

027-220-2372

価格安定支援の各種事業の実施状況については下記のとおりとなっています。

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)

【事業の実績(平成25年7月現在)】

対象期間	単価公表日	品種区分	交付単価(円)	頭数(頭)	交付金額(千円)	契約数(戸)	交付日
平成25年4月	6/7	肉専用	-				6/28
		交雑	38,700	1,370	53,019	132	
		乳用	63,900	154	9,841	16	
		計		1,524	62,860	148	
平成25年5月	7/8	肉専用	-				7/26
		交雑	33,900	1,101	37,324	115	
		乳用	56,000	359	20,104	15	
		計		1,460	57,428	130	
総計		肉専用		0	0	0	
		交雑		2,471	90,343	247	
		乳用		513	29,945	31	
		合計		2,984	120,288	278	

■肉用子牛生産者補給金制度

【事業の実績(平成25年7月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価(円)	頭数(頭)	交付金額(千円)	対象者(戸)	交付日
平成25年1~3月	他肉専用	33,200	0	0	0	5/31
	乳用	10,600	432	4,579	11	
	計		432	4,579	11	

■肉用牛繁殖経営支援事業

【事業の実績(平成25年7月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価(円)	頭数(頭)	交付金額(千円)	対象者(戸)	交付日
平成25年1~3月	他肉専用	34,500	0	0	0	交付なし

■肉用牛肥育経営緊急支援事業支援金に係る返還状況

【平成25年3月販売分まで(平成25年6月現在)】

1 返還状況

販売対象期間(販売異動等)	請求額(千円)①	入金額(千円)②	請求残額(千円)①-②	返還金残額(千円)
支援金交付額(191名)				1,946,500
H23.8~H25.3	1,910,950	1,523,300	387,650	423,200

2 請求書発行者数及び入金状況

	請求	うち全額返還	うち一部返還	うち全額未納
発行者数 (人)	191	142	43	6
請求額 (千円)	1,910,950	1,294,600	413,400	202,950
うち入金額 (千円)	1,523,300	1,294,600	228,700	

# 主 な 行 事 予 定

日付	行事	場所	担当部等
<b>【8月】</b>			
2013/8/1	指導推進協議会	JAビル	畜産振興部
2013/8/1	畜産経営特別指導推進協議会	JAビル	畜産振興部
2013/8/7	平準化事業推進会議	JAビル	畜産振興部
2013/8/20	養鶏研修会	JAビル	養鶏協会
2013/8/21	牧場宿泊交流体験	神津牧場	企画管理部
2013/8/28	たまニコ リレー	栃木県	養鶏協会
<b>【9月】</b>			
2013/9/6	畜産共進会(山羊)	--	畜産振興部

## 地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

### みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

群馬で競馬をするなら高崎場外です。高崎場外は旧高崎競馬場跡地を利用した場外馬券売り場です。開催日には高崎駅東口から無料シャトルバスを運行しており、大変便利です。

2013年 8月			2013年 9月		
1	木	大井	17	土	
2	金	大井	18	日	
3	土		19	月	川崎
4	日		20	火	川崎
5	月	船橋	21	水	川崎
6	火	船橋	22	木	川崎
7	水	船橋	23	金	川崎
8	木	浦和	24	土	
9	金	浦和	25	日	
10	土		26	月	大井
11	日		27	火	大井
12	月	大井	28	水	大井
13	火	大井	29	木	大井
14	水	大井	30	金	大井
15	木	大井	31	土	
16	金	大井			
1	日		16	月	大井
2	月	川崎	17	火	大井
3	火	川崎	18	水	大井
4	水	川崎	19	木	大井
5	木	川崎	20	金	大井
6	金	船橋	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	船橋
9	月	船橋	24	火	船橋
10	火	船橋	25	水	船橋
11	水	浦和	26	木	船橋
12	木	浦和	27	金	船橋
13	金	浦和	28	土	
14	土		29	日	大井
15	日		30	月	大井

◆高崎場外馬券場所在地  
群馬県高崎市岩押町 12-16  
お問合せ：027-326-5648



詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

### 編集後記

今回も「群馬の畜産 みんなの情報室」をお読みいただきありがとうございます。気が付けば、もう8月。早くも、今年度は7月の暑さから、今はひと段落した感があります。多湿のため、家畜も人も不快な日々が続いていますね。先日、誕生日のお祝いで、約10年ぶりに「おとぎの国」に連れて行ってもらいました。日曜日ということもあり、「おとぎの国」のアトラクションはどれも長打の列。35℃を超える気温の中で、120分を列の中で待つのもひと苦労でした。ふと思ったのが、熱中症。これだけの人がこの暑さの中にいるながらも熱中症のような症状で倒れている人は見かけることなく・・・。「おとぎの国」では、至る所に飲料の給水施設があり、イベントでは大量の水を観客にかけるなどして、暑熱対策が図られています。ふと振り返ると、「おとぎの国」では、給水施設を見つけては、ペットボトルに水を入れて、飲んで空けては水を入れ、そんな繰り返しを繰り返して残っていません。(笑)(K)